

1 事業内容

団体名	クスろ
事業名	釧路の魅力的な「人」との交流事業
課題テーマ	地域経済の活性化
事業提案の背景	<p>釧路は魅力的な「名所」や「食」は数多く発信されているのに比べ、観光資源として魅力的な「人」の発信はほとんどされていません。そのため、観光客は交流はおろか、釧路にどのような魅力的な「人」がいるのかを知ることは難しいのが現状です。</p> <p>そこで私たちは昨年度、『釧路地域の魅力的な人の情報発信事業』の中で「会いに行きたい人がいるまち釧路」をビジョンに掲げ、様々な活動を行ってきました。魅力的な「人」（以下、「クスろ人」と言います）の発信をホームページ上で行い、実際に出会えるイベントも実施しました。また、街の魅力・課題・解決策を共有することで市民のホスピタリティーを高めようと開催した計3回のワークショップでは述べ112名の方にご参加いただきました。参加者の職業は多岐にわたり、年齢も20～60代まで幅広い層が集まる場となりました。「釧路の良さを知った(学生)」、「普段出会えない層の市民との交流ができ、一緒に何かしてみたいくなった(30代主婦)」などの声をいただいています。このような取り組みは日本経済新聞、北海道新聞、釧路新聞、FMくしろ、webマガジン等のメディア各社に計20回ほど取り上げていただき、多方面から反響を得ることができました。</p> <p>事業を進める中で、2つの課題が出てきました。 1つ目は、イベントでは来場者にクスろ人の魅力を存分に感じてもらった手応えを掴む一方で、「人の発信」に時間がかかり、数多くイベントを開催できなかったこと。2つ目は、市民の多くがまだまだ釧路を知らない、語れない現状だということ。</p> <p>この課題を解決するために、今年度私たちが提案する事業は、「クスろ人とのリアルな交流の場づくり」です。 来訪者にとっては、ハードルが高かった「個別でクスろ人に会いに行く」という行為をもっと気軽なものにでき、市民にとっては、自分の言葉で街を語れる材料となります。 この両者がクスろ人への関心を高め、実際に魅力を知る機会を得ることで、ゆくゆくは来訪者のリピートにつながり、街のホスピタリティーを上げていくことができると考えています。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「人」に会える場の創出 <ul style="list-style-type: none"> -釧路の魅力的な人・その人に会いに行ける方法を発信した上で、実際に出会える場も作ることで、「人」に会いに来るリピーターの増加を目指す。 ・「人」に会いに来た観光客を受け入れる街「釧路」の実現 <ul style="list-style-type: none"> -昨年度共有した釧路の魅力や課題をもとに、釧路の魅力的な人に出会える場を体験することによって地域への愛着心を育て、さらには観光客へのホスピタリティーへとつなげる。

事業概要	<p>①ホームページ：イベント情報を発信 ②イベント、ツアー：クスろ人と実際に交流できるイベントの開催 ③報告書：ホームページ内容を展開した活動報告書制作・頒布（釧路管内・他地域（札幌・東京を中心とする道内外）・ホームページ上PDF）</p>
事業展開	<p>【2015】 6月：クスろ人とのイベント打ち合わせ開始（通年） - 市民と共同で実施</p> <p>7月：『ブイブイマーケット』 - ホームページに事前掲載した複数のクスろ人に一度に会い交流できるイベント①（テーマ『手作り作家に会えるものづくりワークショップと手作りマーケット』）</p> <p>9月：ホームページに事前掲載した1人（1組）のクスろ人に会い、深く交流できるイベント①（テーマ『福司酒造蔵人と楽しむ福司×アウトドアクッキング』）</p> <p>11月：『グローバル収穫祭』 - ホームページに事前掲載した複数のクスろ人に一度に会い交流できるイベント②（テーマ『釧路在住の外国人に会える食のマーケット』）</p> <p>12月：ホームページに事前掲載した1人（1組）のクスろ人に会い、深く狭く交流できるイベント②（テーマ『釧路の2025年を考えるワークショップ』）</p> <p>【2016】 1月-3月：活動報告書頒布（釧路管内、札幌・東京を中心とする道内外）</p>
成果目標の達成状況	<p>①一度に複数のクスろ人に会える場計2回、1人（1組）のクスろ人に会える場計2回、計4回のイベントを開催 ②全4回イベント参加人数述べ400人 ③全4回イベント市外来訪者・参加者述べ30人 ④団体の増加（社会人1名、学生2名）</p>
波及効果の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路の知名度及び来訪意欲の向上（住友生命『YOUNG JAPAN ACTION』奨励賞受賞、Facebookページいいね!件数1,073） ・再会を望むリピーターの産出（9月イベント/12月ワークショップの参加者アンケートでは98%が「次回も参加したい」と返答） ・市民が釧路の魅力を再発見し、ホスピタリティーが向上 ・市民同士の繋がりの増加
実施体制	<p>クスろが主軸となり、行政・市民・団体と協力して実施。 イベントに関わるクスろ人との綿密な計画・協働体制を重要視する。</p>
連携した市担当課	<p>都市経営課、観光振興室</p>
連携した市担当課が果たすべき役割	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの適正なアドバイス ・イベント会場との調整 ・観光客が出入りする駅や空港、イベント会場などでのパンフレット設置や配布

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	500,000 円	
資本金	84,890 円	
住友生命『YOUNG JAPAN ACTION』奨励賞副賞	100,000 円	
合 計	684,890 円	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
委託費	73,980 円	・ グローバル収穫祭DMなどデザイン料
印刷費	54,703 円	・ DM印刷 ・ 活動報告書印刷 ・ 名刺印刷 ・ POP印刷など
役務費	19,046 円	・ 振込手数料 ・ 収入印紙代 ・ 資料送付料
会場費	20,220 円	・ イベント会場使用料 - 富士見会館(ブイブイマーケット) - 鉄北中央会館(グローバル収穫祭)
講師謝礼	10,000 円	・ 菊地和広さん(グローバル収穫祭)
交通費・宿泊費	270,630 円	・ 交通費 ・ 宿泊費 ・ 企画準備(スタッフミーティング、クスろ人との打ち合わせなど)、イベント当日運営に伴うガソリン代・バス代・航空券代など - 東京メンバー航空券往復代 (クスろ人に出会えるイベント4回の運営)
消耗品費	84,994 円	・ ワークショップ・イベント消耗品
小 計	533,573 円	
対象外経費		
ホームページ費	7,000 円	・ ドメイン・サーバー代など
飲食費	63,322 円	・ クスろ人取材時飲食代 ・ スタッフ用飲食代など
イベント食材仕入	69,076 円	・ クスろ人に出会えるイベント4回分
交通費	11,919 円	・ 取材、買出時等ガソリン代
小 計	151,317 円	
合 計	684,890 円	